

コロナ下で成長、新天地へ



青森高校 総代の平山さん(左)から卒業証書を受け取る宍倉校長(右)＝1日、青森高校

県内高校 卒業式

県内の多くの高校で1日、卒業式が行われた。青森市の青森高校では卒業生276人が、新型コロナウイルスの感染拡大による休校、行事や部活動の縮小などの苦難に屈することなく、仲間と共に学んだ日々を振り返り、再会を誓って学びやを巣立った。

宍倉校長は式辞で、「常に前を向いて大きな夢と高い志を持って、友と励

まし合い、お互い切磋琢磨した姿は輝いていた」と、卒業生をたたえた。在校生を代表し、生徒会長の越後七音さん(2年)が感謝の言葉を述べた。

卒業生代表の小松佳祐さんは「この苦しい1年間で戦ってきた私たちは、きっと新天地でも活躍できるはず」と強調した。「生きてまた会おう 僕らそれぞれ」の場所で重なり合えそ

だ」と、星野源さんの楽曲「うちで踊ろう」から引用し、「今の私たちを表現している」と語った。

代表して卒業証書を受け取った総代の平山碧さんは取材に「良い意味で个性的な人たちと尊重、刺激し合って成長できた。このクラスとの別れは寂しい」と話した。

式は保護者や来賓、在校生の出席を制限し、校歌は歌わず録音音を再生するなど感染防止対策を取って行った。(新村菜穂)

東奥日報 2021年(令和3年)3月2日(火)朝刊 掲載

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです